※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワーク 2　A 班

（F）　模造紙に貼られている質問を、グルーピングして代表質問をつけましょうということですが、もう作業を始めていいですか？

（サブ F）　どうぞ。

（F）　では、各自読んでいただいて、グルーピングしていきましょう。グルーピングしたものに対して、回答の優先順位を決めるというふうにしていきましょう。では、読んでください。

（各自質問を読む）

（F）　これがマスコミですね。

――　グループワーク 1 と同じ分け方だとすれば、ムラびと側がどうするかということと、マスコミがどうするかということと、市民側からどうするかということ、になりますね。
　でも、これ（ムラの解体）は、根本的な話ですよね。

（F）　そうですね。まあムラびと側のやることだとは思うのですけど。

――　ムラびとは自分のムラを解体しようとは言わないでしょう。

（F）　言わないですけど。その質問にも答えるということですか？

――　4 つ目の象限でしょうか。ムラびと、市民、マスコミ、そしてもうひとつ、ムラの解体。そうすると質問が 4 つになってしまうな。

（サブ F）　時間がないので、2 つか 3 つと言われています。
　でも、グルーピングして、優先順位をつければいいから、4 つは OK にしちゃいましょう。

（F）　この辺りが「ムラの解体」ですよね。これが「マスメディア」。
　あとは？　これはイメージに関する質問ですか？

（サブ F）　専門家がそう思っていないのに、どうするの？　という感じでしょうね。

――　つまり、どのように良くしようと発信するつもり？　ということですね。

（F）　ああ、そういうことですね。

――　この質問は、なぜ行政に頼むの？　自分でどうしてやらないの？　ということですよね。そういう情報発信は誰がやればいいのか、ということですよね。

（F）　「発信者は行政？　第三者、どちらかが良い」ですか。

――　発信でしょうか。発信方法。

――　こちらは、「イメージを気にしない人が何を発信するの？」と書いてありますね。元々気にしていないのだから何もしないのでしょう、と言っているのでしょうね。
　「なぜイメージを良くしようと思わないのか？」。そんなこと言われても、おしゃれをする人としない人、みたいなものなのかな。

――　この質問は市民側でしょうか？

（F）　そうですね。

――　ここから 2 つ選ばないといけないわけですね。

――　「村人に反省が見られない」。これは質問ではないですね。

――　これは質問ではないですね。意見だから、これは除外しましょう。

（F）　「環境教育と同じイメージ？」というのは？

（サブ F）　グループワーク 1 で教育にも触れていましたからね。

（F）　では、教育というグループにしておきましょうか。

（サブ F）　そして、優先順位をつけます。

（F）　これが市民側。これは教育。これは？

――　それも市民の教育の問題ですね。

――　そうですね。どういう教育をしたらいいか？　という質問だと思います。

（F）　では、優先順位をつけましょう。

――　私はこれが気になるんですけど。教育っていうか。

――　「解体」は他の班で出ていなかったので、優先順位は高いですよ。入れたいですよね。

（F）　こちらは「ムラびとの発信」で、こちらは「市民」で、ここが「マスコミ」で、そして「ムラの解体」ですよね。

――　どうやってイメージを上げるか、ということが重要ではないですか？

（F）　それでは、これを１番にしましょうか？

――　これが１番でしょう。枚数も多いし。

（F）　確かにそうですね。
もうひとつはどうしますか？

――　他の班が言っていないものを入れたら面白いと思いますよ。

――　ムラびと側と市民側という意味では、両方があったほうがいいと思うのですけど。発信側と、受信側。市民がいつも受信というのもおかしいとは思うのですけど、両側からどう攻めるか、というのがあってもいいのではないかなと。

――　そうですね。おっしゃる通りで、市民の方から何が分からないのかを言ってもらわないと、答えが出ないこともある。

――　そうですね。

―― だから、分からないことを言ってもらう必要がある。
でも、「何も分からない」というときはどうするんだ、という問題もありますね。

―― 私は、市民側はそもそも知ろうとしていないとか、アレルギーがあるとか、そもそも論の問題があると思うのです。「特有のアレルギーをどうしたらいいのか」、「分からないことについて知ろうとしているのか？」というこの質問が、根本の質問なのかなと私は思ったのです。
一方でムラびと側については、発信の仕方とか、イメージ作りに問題があるんじゃないのと皆が思っている、と思ったのですけど。

―― お互いが理解するためには、こちら（ムラびと側）を取り上げるなら、そちら（市民側）も取り上げないと駄目でしょうね。

―― と思います。

―― だから、こちら（ムラびと）側は何を伝えたらいいのかということ、こちら（市民）側は何を伝えてもらいたいかということ、その議論をしていないと駄目ですよね。それが一緒じゃないと、こちら（ムラびと）側が何を言っても駄目だし、こちら側（市民）はそもそも聞けないから。

（F） そうですね。リンクしていると思いますね。

―― そうですね。リンクしているので、これが 2 番でいいのではないですか？

―― 2 番でいいと思います。

（F） 2 番でいいですか？

（サブ F） それで、「ムラの解体」は、時間があったらしましょう。

（F） ああ、これを 3 番にしますか。では、「マスコミ」は今回は置いておくと。

―― （マスコミについては）他のところが言うでしょうからね。やはり、いろいろな意見を出す場合には、他が出さない意見を出すのが大事なことですよね。
進め方は？

（F）　では、まずは１番に対しての回答ですね。この質問に対する回答を、各自ポストイットに書いてもらえますか。

――　イメージ作りの仕方ということでいいのですかね？

（F）　まあ、そうでしょうね。

――　イメージを払拭して、良くするというか、これ以上悪くしないというか。コスメティックされている部分をどのようにして取るか、ということでしょう。

――　だけど、結局市民に知ろうとする努力がなければ、いくらムラびとが説明しても、自分たちの都合のいいような、

――　順番に話していくので、先に向こう（ムラびと側）を話そうということです。

――　うん、だから、結局市民が要求しない限り、ムラびとがいくら説明しても、

（サブ F）　それを付箋に書けばいいのではないですか？　例えば「市民の要求をつかめ」と書けば。

――　でも、興味がないものを説明しても、

（サブ F）　では、書いていただいて、後で皆さんに意見を言うようにしましょう。

――　このグループワークは、結局、ポストイットを貼るのが仕事になりますので。写真を撮ってまとめるときは、書かないと駄目だということで、一生懸命書いてもらっていますから。書きましょうよ。
　どうしたらいいか。うーん、なんだろう。分からないな。例えば、アトミックガールを売り出す。イメージって難しいからなあ。

（F）　この質問に対して答えを書いていくということですか？　この「なぜイメージを良くしようと思わないのか？」という質問に対して答えるということですか？

――　そうですよね？

（F）　それとも、これは、どういう…。

――　質問が少しぶれているのですよね。

（F）　そうですね。何に対して答えを書けばいいのかが分からないので。

――　この 2 つの質問は、悪口を言われているのに、どうしてそれに対して弁明しないの？ということを言っているのですよね。

（F）　そうですね。それに対する答えを書くのか？　こちらには、「イメージを気にしない人が何を発信するの？」という質問がありますね。

――　この質問は、イメージを気にしないのだから、何もする必要がないでしょうということを言っているのですよね。

――　それに対するひとつの答えは、「市民が知りたいことを理解して、説明する」ということだと思います。

――　質問を具体的にしたほうがいいと思います。

（F）　そうですね。

――　「なぜイメージを良くしようと思わないのか？」というのは、答えを作っても仕方がないから、答えは必要ないと思うのですよね、私は。どうしてと言われても、する気がないんだもんっていうことだから。
　じゃあ、そういう人にどうやってモチベーションを持たせるのか。そういうことでしょう？

――　この質問は結構大事だと思うのです。これが、広報の仕方が変だと思われる原因だと思うのです。

（サブ F）　「なぜイメージを良くしようと思わないのか？」という質問が大切ということですね。

――　先ほども書きましたけど、要するに、別に困っていないからですね。

―― じゃあ、困らせればいいのか、ということでしょうね。

―― 「困っていないから」というのは、とりあえずひとつの回答ではあります。

―― 例えば、予算を削ったりすればいいのか。予算を減らす。

―― 答える質問はこれでいいですか？ では、①は、「なぜイメージを良くしようと思わないのか？」に答えるということでお願いします。

―― それに対する答えは、困っていないから。
だったら困らせればいいじゃないかということで、予算を削りましょうということになるわけです。

―― なるほど。

―― 失業の危機にさらされた場合、皆イメージを良くしようとして働くでしょうと。本気になるでしょうと。

―― 私は逆に、予算を増やしたほうがいいと思います。

（サブ F） ポストイットに書きながら説明してくださいますか。

―― でも、予算を増やしたら、緊張感がなくなるでしょう。

―― いや、せこい予算なので、

―― いや、年間 2 千億ぐらい出ているでしょう。

（サブ F） ポストイットに書きながら、順番に説明をしていただけますか。

―― では、私は、「予算不足」ということです。

（F） 予算不足。それでモチベーションが下がるということはあるかもしれませんね。

―― そうですね。

―― 結局、原子力に対する予算が少なさすぎますよね。

（サブ F） そちらの方も書かれたようですね。ご意見をどうぞ。

―― 他の方のご意見を強調しただけなのですけれども。困らせればいいというのは、つまり、経営意識を持たせることかなと。

―― ああ、それはそうですね。個人個人に。

（F） そういう意識がないというのはあるかもしれませんね。

―― なぜイメージを良くしようと思わないのか。なぜなのですか？

―― ひとつには、やはり国立研究所や大学の先生は、職には困らないということですね。

（サブ F） それも書いていただけますか。

―― 失業の恐れがないから。

―― 「立場の重要性の認識の不足」。原発に携わっている方に、どれほど重大な立場なのか理解してやってもらうためには、こじつけですが、もっと予算をガバガバ入れて、もっと重要性を認識してほしいのですよね。

―― なるほど。

―― お金のでかいところは、そんなに頑張るとは思えないんですけど…。どうしても、全体を見ると予算不足。

―― 私は、最終的には個人の倫理観かなと思っているのですけど。

（サブ F） そろそろ 2 番目の質問に移りましょう。

（F） そうですね。2 番目は、日本人特有なのかもしれないけど、そのアレルギーに対してどうするか。分からないことについて知ろうとしているのか。というところですね。

―― 放射能のことを言っているのでしょうか？

（F）　それも含めてだと思いますね。原子力には放射能もあるので、そういうことに対して拒否反応みたいなものがある。それをどうするかということ。

（サブ F）　皆さんにポストイットに書いていただいて、順番に発表していただきましょう。

（F）　そうですか。では、書いてください。

（サブ F）　なんでもいいですよ、質より量ということで。

――　できました。

（サブ F）　あ、皆さん書いていらっしゃるので、少しお待ちいただいてもよろしいですか。

（F）　皆が書いてから出しますか？

（サブ F）　ええ。

（F）　では、書き溜めてください。

――　いくらでも書き溜めちゃいますよ。こういうときは、何にも考えないで、ガンガン書くんですよ。そうすると、他の人が議論を深めてくれるから。

（F）　では、いきましょう。そちらの方からで大丈夫ですか？

――　放射能が、なんとなく怖いではなくて、何が怖いのかを具体的にする。

（F）　具体的に。そちらの方も同じようなご意見ですか？　放射能の力？

――　力。何だろう。自分で書いておいて、分からない（笑）。

（F）　そういうのを教えてほしいという意味ですか？　放射能は何が怖いのかを専門家に教えてほしい。

――　うーん。放射能も、被ばくの度合いによって、全然分かっていない場合が多すぎて。だから漠然と分からないというのは当たり前で。

（サブ F）　書いていただけますか。

――　うーん。何を書けばいいんだろう。

――　では、次々と出しましょう。

――　適当なアレルギーは大切なのではないか。

（F）　適当なアレルギーは大切。肯定意見ですね。

――　私は少し違うのですけど。学会や企業が率先して、魚と野菜と果物を食べる。

（F）　これは、福島県産ということですか？

――　だって、アレルギーを解消するには、見せる必要があるでしょう。

（F）　なるほど。パフォーマンスということですね。

――　それなしにはできないでしょう。
　それから、首相官邸を福島に移す。

（F）　具体的ですね。

（総合 F）　ファシリテーターの皆さん、あと 10 分です。そろそろ次回のテーマ案に話を進めてください。いくつ出ても構いませんが、優先順位をつけていただければと思います。

――　こういうのは、具体的なものを書いたほうが面白味が出るのです。刑務所の食事を全部ここで賄うとか。

（サブ F）　そちらの方も貼られていますね。

（F）　「受け入れる」（ポストイットを読み上げる）。

――　何をですか？

―― 悪いイメージを持っているのだけれども、私たちがそういうアレルギーだと思っていることを受け入れるし、あとは、そう思われているということを受け入れる。

―― 寛容な心を持とうということですね。

―― 広い心を持って。

―― もう少しアカデミックに言えば、リスクのある社会を受け入れるということだろうと思います。

（F） なるほど。そうですね。
では、次の方、どうぞ。

―― 先ほども同じことを言ったのですけれども、興味を持ちやすい雰囲気づくり。

（サブ F） はい。では次回のテーマに移りましょう。

（F） では、次回のテーマの提案について、各自ポストイットに書いてください。

―― 次回何をしたいか。

（F） そうですね。これらを踏まえてということですね。今までのことも含めて、次回は何を話したいかを書いてください。

（記入中）

（サブ F） 書いたら、回収箱に入れてください。

（F） ポストイットをですか？ 皆に披露することはなく？

（サブ F） はい。

―― 書かないでいいのですか？

（サブ F） いえ、書いていただいて、後で回収します。

（F）　え、そうなのですか？　優先順位をつけましょうと書いてありますけど。

――　テーマ案を発表すると書いてありますよ。

（F）　じゃあ、やはりテーマ案を発表するんじゃないですか。では、今から書いて発表しましょう。

――　今、運営側の意思が統一されていないような気が若干したなあ。

――　あ、書くのですか？

（F）　書くみたいです。

（記入中）

（サブ F）　失礼しました。やはり、皆さんに説明してください。

（F）　では、そちらの方から、説明して、貼ってください。

――　イメージを変える戦略を話したらどうか。これは結構ビジネスとも結びつくし、ブランディング戦略と同じですから。
　それから、原子力検定。これを学会主導で作る。「教育をする」というのはあまり受けないのですよね。

（F）　確かに、検定があると、ひとつのモチベーションにはなるかもしれない。

――　小学生がいい点を取ったら、文部大臣賞なんかをあげちゃう。
　それから、安全・安心を信じてもらうにはどうしたらいいかを話したらどうかなと思います。以上です。

（F）　では、次の方。

――　私は、少し重なるのですが、アレルギーや（悪い）イメージを払拭するにはどうしたらいいのかということ。
　それから、もう 1 回原子力の必要性というか、大事なところを皆で話し合うのはいいかなと思いました。

―― なるほど。それはいいですね。

（F） では、そちらの方、どうぞ。

―― なぜ専門家は信頼されないのか？
それから、原子力ムラと安全神話の関係性。
あとは、放射能はどのくらい怖いのか。

（F） それでは次の方。

―― 村人が意欲的に市民とコミュニケーションを取ろうと思えるようになるには、どうしたらいいのか。モチベーションアップには何が必要かということですね。
あとは、同じですね、アレルギーを払拭するにはどうしたらいいのかということ。
それから、なぜ怖いのか。

（総合 F） あと 2 分ですので、次回のテーマを出して、優先順位を決めていただければと思います。

（F） 原子力が、ということですか？

―― そうです。

―― 私はほとんど同じことを書いています。表現が違うだけで。
結局、原発はこれからどうするのか。
よくベストミックスというのですけど、どうするのか。
原発のあるべきポジション。

（F） ムラということからは外れますけれども、確かに大きい課題はありますね。
私は、ムラとムラの外が分かり合えるにはどうしていくか、という案です。

―― そろそろ集約していきますか。

（F） そうですね。グルーピングし、優先順位をつけるということなので、グルーピングしましょう。まあ、でも、貼るときにある程度やっていただいたので。これはアレルギーですよね。これはイメージですよね。怖いというのは確かにアレルギーですね。

あとは、コミュニケーションをどうするかというのは？

―― ムラびとのモチベーションを上げる方策ですね。

（総合 F） ありがとうございます。時間になりましたので、各班から質問の答えと、次回のテーマを発表していただきます。

（F） ええと、グルーピングしたので、

―― やっぱり、検定って駄目ですかね？

（サブ F） 一言で名前をつけます。

（F） 一言で？

（サブ F） 例えば、イメージ改善とか。

―― そうですね。イメージの改善ですね。

（F） これですか。イメージを変える戦略。

―― イメージというのは、アレルギーイメージをどうやって変えるかということで、まとめてもいいのではないですか？

（F） そうですね。これはまとめちゃいますか？

―― まとめるべきだと思います。

（F） 名前はなんでしたっけ。イメージ戦略？

（サブ F） イメージ改善戦略。

（F） イメージ改善戦略でいいですか？

―― いいですね。

（サブ F）　発表はファシリテーターさんですか？

――　それはファシリテーターさんが自分でやるしかないですよね。楽な人生はないんだから。

（F）　これが 1 番ですか？

（サブ F）　名前は、イメージ改善戦略と書いておきますね。
他はどうですか？

（F）　ええと、モチベーションアップ。

（サブ F）　それが優先順位の 2 でいいですか？

――　はい。

＜終了＞